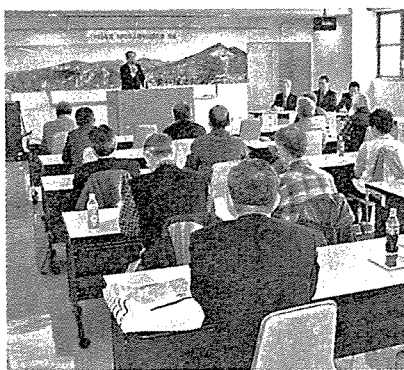


平成28年 4月26日 【火曜日】

石狩側の山道再生に着手 「増毛山道の会」が通常総会



【留萌発】NPO法人増毛山道の会（伊達東会長）は二十三日、増毛町総合交流促進施設元陣屋で二十八年度通常総会を開催した。

写真。石狩市側の山道再生活動や体験トレッキングの実施など本年度の事業計画を承認した。増毛山道は、江戸時代に

活躍した商人・伊達林石衛門が安政四年（西暦一八五七年）に開通させた、増毛町別荘と石狩市幌を結ぶ延長約三十七キロの交易路。留萌管内建設業者や道内コンサル・測量業者らが会員となり、山道の復元を進めている。

総会では、はじめに伊達会長があいさつ。「NPO法人が設立されてから、こんなに早く増毛と浜益の山道が再生されるとは思っていなかった。ここまでこられたのは、様々な人たちの

協力があったこそ」と感謝の意を示した上で、引き続き協力を要請した。来賓あいさつで登壇した留萌振興局の敷紀洋局長は「昨年は留萌側の山道の再生が完了し、ことは石狩側の山道再生について、石狩市と共同着手すると聞いて

いる。石狩市幌とつながることで、西蝦夷地と呼ばれていた時代の重要なルート「増毛山道」が復活すると新たな観光資源の誕生に期待した。このあと、本年度の事業計画などを確認。幌側山道約四・五キロの再生活動や、「山の日」制定記念として石狩市浜益御殿山の山道体験トレッキングを実施していくことなどを申し合わせた。